

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公開番号】特開2008-140022(P2008-140022A)

【公開日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2006-324464(P2006-324464)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月4日(2009.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

申請の手続きに用いられる書類作成装置において、
各申請者を区分するための複数種類の区分情報と各区分情報に応じた複数種類の案内情報とを記憶している記憶手段と、
申請者が所持している記録媒体に記録されている識別情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段により前記記録媒体から読み取った識別情報に基づいて当該記録媒体を所持している申請者の区分情報を判定する判定手段と、
この判定手段により判定された当該申請者の区分情報に対応する案内情報を前記記憶手段に記憶されている案内情報から選択する選択手段と、
この選択手段により選択された案内情報に基づいて当該申請者用の案内書を印刷する印刷手段と、
を有することを特徴とする書類作成装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、各案内情報として、各区分情報で区分される行先を明示した案内書を前記印刷手段により印刷するための案内書の印刷データを示す情報を記憶している、
ことを特徴とする前記請求項 1 に記載の書類作成装置。

【請求項 3】

サーバと書類作成装置とを有する書類作成システムにおいて、
前記サーバは、
記憶媒体固有の識別情報と各申請者を区分するための複数種類の区分情報とを対応づけて記憶している第 1 の記憶手段を有し、
前記書類作成装置は、
前記区分情報と各区分情報に応じた複数種類の案内情報とを記憶している第 2 の記憶手段と、
申請者が所持している記録媒体に記録されている識別情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段により前記記録媒体から読み取った識別情報に対応する区分情報を前記サーバより取得する取得手段と、
この取得手段により前記サーバから取得した区分情報に対応する案内情報を前記第 2 の記憶手段に記憶されている案内情報から選択する選択手段と、

この選択手段により選択された案内情報に基づいて当該申請者用の案内書を印刷する印刷手段と、を有する、

ことを特徴とする書類作成システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】書類作成装置及び書類作成システム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

この発明は、たとえば、記憶媒体に記録されている識別情報に基づいて案内書を印刷する書類作成装置及び書類作成システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の一形態は、上記のような問題点を解決するものであり、案内業務を効率化し、利用者の利便性を向上させることができる書類作成装置及び書類作成システムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明の一形態によれば、案内業務を効率化し、利用者の利便性を向上させることができる書類作成装置及び書類作成システムを提供することができる。